

若手会社員ら12人受講 神戸新聞講座

Newspaper In Business 新聞活用し仕事力アップ



仕事での新聞活用術を学ぶ受講生ら＝神戸新聞社(撮影・後藤亮平)

新聞を活用して仕事力を高めてもらう神戸新聞社のNIB講座が16日夜、神戸市中央区東川崎町1の同社

新聞活用
NIB

本社であり、青年男女の奉仕クラブ「神戸ロータリーアクトクラブ」に参加する大学生や30歳未満の会社員ら12人が受講した。

NIBは「Newspaper In Business(ビジネスに新聞を)」の略。新聞を教科書にして、正しい情報との向き合い方を知り、仕事に役立ててもらおうことを目指す。

講座では、同社NIB推進室長が、新聞全体の読み方や仕事への活用術のほか、ネット情報との違い、フェイクニュース(偽記事)、会員制交流サイト(SNS)の注意点を伝授。受講者らは、スマートフォンと異なり、ニュース価値が掲載面や記事の大きさで分かることや、興味のないニュースも目に入る一覧性などに感心していた。

神明(神戸市中央区)の社員で入社7年の守本枝里香さん(29)は「新聞は興味のある見出しを読むだけだったが、仕事やコミュニケーションに生かせる情報との向き合い方ができそうです」と話した。(富屋雅人)